

坪井明日香 陶芸展

—わが心の軌跡—

2010年

11月3日|水・祝|



12月26日|日| 会期中無休

● 作者による列品解説

11月23日|火・祝| 14:00~

開館時間=9:30⇒17:30(入館は17:00まで)

入館料:一般 1,000円(4枚セット券 3,000円)

大学生 800円/高校生 500円/中学生以下無料

後援=三重テレビ放送、中日新聞社、読売新聞社、
伊勢新聞社、株式会社シー・ティー・ワイ



「都・女・祭・猫」 2007年



paramitamuseum

財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com

坪井明日香 陶芸展

—わが心の軌跡—

坪井明日香は1932(昭和7)年大阪市に生まれ、東京で育ちました。自由学園では清水多嘉示に彫刻を学び、1953(昭和28)年、卒業と同時に京都の釉彩工房で陶芸を始めました。陶芸には初心者であったはずの坪井はその年の秋、富本憲吉らが主宰する新匠会の第8回公募展に入選し、その後10年あまりの間、富本憲吉に師事することとなりました。当時は女性の陶芸家自体が、ほとんどいなかった時代であり、坪井が女性陶芸家の草分けの一人とされる所以です。

特筆されるべきは、1957(昭和32)年、坪井が25歳の若さで全国の女性陶芸家に呼びかけ、「女流陶芸」を結成し、女性陶芸家への評価を日本の社会に根付かせようとしたことです。この女流陶芸はその後毎年坪井の主導のもと展覧会を開催して現在に至っており、発足当初7名だったメンバーも今では80名をこえる規模となっています。また、そのメンバーは女性陶芸家という枠組みを超えて、文字通り日本の現代陶芸を代表する作家の集まりとなっています。

1960年代まで坪井は新匠会に器など生活工芸品を出品していましたが、1970年頃からは、独特のオブジェを発表し、女性特有の感性を表現してきました。その間、ファエンツァ国際陶芸展をはじめ数々の国際展に出品し、海外でも高い評価を受けています。

本展では1970年代から現在に至る約70点の坪井明日香の主要作品を展示し、作者の40年間の軌跡をたどります。



歓楽の木の実 1973年 京都国立近代美術館蔵



パリに残したロープから バスティーユからの誘い 1988年 作家蔵



世紀末占星術師 困惑の日常(3点組の内) 1998年 常滑市教育委員会蔵

撮影：畠山崇
ニューカラー写真印刷(株)



京都地図 1977年 東京国立近代美術館蔵



私小説 1997年 作家蔵



女の一生 2000年 パラミタミュージアム蔵

● 略年譜 ●

- 1932年(昭和7) 大阪市に生まれる
- 1953年(昭和28) 自由学園卒業/京都泉涌寺釉彩工房にて陶芸の道に入る/新匠会公募展出品。以降1976年退会まで毎年出品
- 1954年(昭和29) 富本憲吉に師事する/新匠展佳作/彩土会結成
- 1957年(昭和32) 女流陶芸結成。以降女流陶芸展に毎年出品
- 1959年(昭和34) 新匠会会友努力賞。会員となる
- 1970年(昭和45) 現代の陶芸・ヨーロッパと日本展(京都、東京国立近代美術館)招待出品
- 1971年(昭和46) イタリア ファエンツァ国際陶芸展/現代の陶芸アメリカ、カナダ、メキシコと日本展(京都、東京国立近代美術館)招待出品/第1回日本陶芸展。以降毎回出品。1979年より招待出品
- 1972年(昭和47) 新匠展富本賞/日本陶芸展アメリカ巡回展
- 1976年(昭和51) 東ドイツ 日本陶磁展招待出品
- 1979年(昭和54) 現代陶芸家展/日本陶芸展。以降毎回招待出品
- 1982年(昭和57) イタリア ファエンツァ国際陶芸展/アート&クラブ・USA & JAPAN展

- 1984年(昭和59) フランス国立セーブル製陶所創作アトリエに招聘される/現代女流美術展(上野の森美術館、箱根彫刻の森美術館)。以降毎年招待出品
- 1985年(昭和60) シテ・デ・ザール国際美術展/ハンガリーセラミックシンポジウムに招待される/シクロス国際陶芸展
- 1986年(昭和61) ユーゴスラビア国際陶芸展/スイス ニヨン国際陶磁器トリエンナーレ招待出品
- 1988年(昭和63) 第1回京都美術文化賞受賞
- 1990年(平成2) 昨日・きょう・明日展(京都市美術館)/京都府あけぼの賞受賞
- 1991年(平成3) 京都市芸術功労賞受賞

パブリック・コレクション

東京国立近代美術館/京都国立近代美術館/京都市美術館/パラミタミュージアム/滋賀県立陶芸の森/ファエンツァ国際陶芸博物館/ローマ日本文化館/国際交流基金/フランス国立造形センター/エール大学付属美術館/他

次回予告

昭和萬古とその系譜

— 明治から昭和まで —

2011年1月2日(日)~2月21日(月)

2009年、パラミタミュージアムでは、散逸が危惧される昭和萬古の蒐集事業を行いました。それにより新収蔵された昭和萬古は約350点に及びます。今回は明治以降の萬古焼の逸品とともに新収蔵の昭和萬古から秀作を選んで展示します。



金彩龜貼付文急須

新収蔵記念



- お車をご利用の場合=東名阪四日市ICで降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車可)
- 電車をご利用の場合=近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m。全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum 財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com

